

2021年1月

- 5日 ペイントピアノお披露目コンサート
- 9日 上野連合自治会役員会
- 13日 豊中市議会新型コロナウイルス対策本部会議 傍聴
- 14日 議会運営委員会 傍聴 ※
- 19日 全国政策研究集会2021打合せ
- 21日 議会運営委員会 傍聴 ※
1月臨時会 本会議 ※
- 22日 大阪府都市競艇企業団議会 全員協議会 ※
- 29日 大阪府都市競艇企業団議会 ※



- 19日 大阪府都市競艇企業団議会 ※
- 20日 六稜トーカー(オンライン参加)
- 22日 予算審査勉強会
- 24日 議会運営委員会 傍聴 ※
3月定例会 本会議 ※
- 25日 予算関連事業現地視察 ※
予算審議勉強会
大阪大学公共政策研究会
「大学生と考えるヤングケアラー」(オンライン参加)
- 26日 予算審議勉強会



2021年2月

- 1日 会派会議
- 2日 大阪府都市競艇企業団議会 ※
- 3日 大阪府都市競艇企業団議会 業務常任委員会 ※
- 4日 全国若手市議会議員の会研修会(オンライン参加)
- 6日 地域子ども教室野鳥観察会・上野連合自治会役員会
- 9日 豊中市議会ペーパーレス会議システム講習会
- 10日 来年度予算案・条例案等説明会 ※
空港問題調査特別委員会委員懇談会 ※
- 13日 地域子ども会再生資源ごみ回収作業
- 16日 家族教育を考える学習会
大阪府都市競艇企業団議会 全員協議会 ※
- 17日 議会運営委員会 傍聴 ※
豊中市議会新型コロナウイルス対策本部会議 傍聴
- 18日 予算内示会 ※

2021年3月

- 2日 島田妙子氏講演会(オンライン参加)
- 3日 3月定例会 本会議 ※
- 4日 3月定例会 本会議 ※
- 5日 3月定例会 本会議(無所属・議会改革代表質問) ※
- 6日 「キャンドル☆ナイト くまっ子 706」
- 8日 地域共生センター・桜塚会館内覧会
- 10日 市民福祉常任委員会 傍聴 ※
- 11日 文教常任委員会 傍聴 ※
- 12日 建設環境常任委員会 傍聴 ※
- 15日 総務常任委員会(神原在籍) ※
- 22日 議会運営委員会 傍聴 ※
3月定例会 本会議最終日 ※
- 23日 大阪府都市競艇企業団議会 ※



収支報告

神原事務所 2021年1月～3月分

2021年1月～3月分

収入	
議員報酬(注)	¥1,959,750
合計	¥1,959,750
支出	
所得税	¥147,543
議員団費	¥9,048
事務所費用へ	¥900,000
生活費	¥903,159
合計	¥1,959,750

(注1) 大阪府都市競艇企業団報酬含
(注2) イベント参加費・カンパなど
(注3) 勉強会参加費など



収入	
前月繰越残高	¥2,078,476
神原宏一郎議員報酬より	¥900,000
その他(注2)	¥2,0000
合計(1)	¥2,998,476
支出	
家屋費(イベント会場含)	¥224,886
光熱費	¥21,646
通信費	¥19,084
印刷費	¥39,352
備品費	¥0
消耗品費	¥26,053
交通費	¥0
人件費	¥423,000
その他(注3)	¥68,702
合計(2)	¥822,723
次月繰越 (1) - (2)	¥2,175,753



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で「前向きサロン」の開催は叶いませんが、皆さまからのご意見・ご感想を是非お聞かせください。

「無所属・議会改革」代表質問の全容は、
ホームページをご覧ください。
<http://positive-square.sakura.ne.jp/>
メールアドレス: young_spiritjp@yahoo.co.jp

発行元 無所属・議会改革(神原所属会派)

〒561-8501 豊中市中桜塚 3-1-1 ☎6858-2525(代表)

神原宏一郎事務所(前向きひろば)

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2階

TEL & FAX: 6854-5664

平日(土・祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

<http://positive-square.sakura.ne.jp/>

※この通信物は、政務活動費を使用し発行しています。



豊中の未来を描こう!!

かんばらこういちろう

神原宏一郎の
つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

発行2021年春号

VOL. 174

打倒コロナ!
打とう
ワクチン!

豊中市議会議員
無所属



関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

3月定例会・代表質問と答弁

①市長の政治姿勢について～政策の進捗度と共に効果の測定と公表を!!～

Q. 長内市長の1期目の任期も残り1年となるが、市長就任時には想定も出来なかった新型コロナウイルス等の影響を勘案して、新たに実現、推進したい政策は?

A. 新型コロナワクチンを市民の皆様様に迅速かつ円滑に接種できるよう全力を挙げて対応していくと共に、コロナ禍で影響を受けた市民や地域経済への支援に全庁一丸となって取り組む。また、来庁せずに行き届くよう行政サービスのデジタル化や、児童・生徒の学力向上を図るためにタブレットを活用した教育環境の充実を進め、さらに、「いじめ・児童虐待を絶対に許さないまち」の実現に向けて、児童相談所の設置に向けた検討に取り組む。

Q. 基本政策の進捗状況は毎年度、評価・公表しているが、手段(政策の進捗状況)だけを評価・公表するのではなく、その効果や目的達成度も経年的に調査をし、評価・公表するべきでは?

A. 私(市長)自らが広告塔となり、市民や事業者など多くの方々との対話やあらゆる媒体を用いながら、施策の取り組み状況や私の思いを発信し、先進都市としてのイメージを高めていく。

★意見・要望★

本市が先進都市として、市内外の方々から評価が高まることは、豊中市民の誇りや市外の方の憧れにつながるとともに、市役所職員のモチベーションの維持、向上にもつながると考える。市長自らが広告塔になって先進都市としてのイメージを高めていくとのことで、期待を持って注視する。

②任意のPCR検査の無料実施について～根拠もエビデンスもない事業に疑問視!!～

Q. 2月から現在までの事業の利用人数、利用された方の陽性率は?

A. 令和3年2月20日現在、申込者は1742人、陽性率は0%。

Q. 無症状で希望する高齢者へのPCR検査を全額公費で実施する医学的、疫学的な理由は?

A. 本検査を実施する確かな医学的・疫学的な理由はない。今後、陽性率や感染状況などを解析して評価する。

Q. PCR検査を増やすと、感染を抑えられたというエビデンスはあるのか?また、1人1回限定でPCR検査の助成を出すことにどれだけの効果があるのか?

A. PCR検査を増やすと感染を抑えられたというエビデンスはない。1人1回限定で行うことについての効果もデータが乏しく分からない。

★意見・要望★

無症状高齢者へのPCR検査による重症化抑制効果の根拠はない、PCR検査を増やすと感染を抑えられたというエビデンスはないなど、本事業にはエビデンスや根拠があまりに乏しく、この事業では1人1回しか検査ができず、新たに次年度予算として2億5200万円もの税金を投入することは、より慎重になるべき!!年齢や回数を限定してPCR検査の助成事業を行うのであれば、高齢者施設を利用されている高齢者の方々に無料でPCR検査を実施するなど、少しでも感染症対策効果が期待できる形での事業実施を検討すべき!!

3月定例会・代表質問と答弁

③放課後こどもクラブについて

～指導員不足の解消が喫緊の課題!!～

Q. 過去10年の利用児童数、クラブ数、指導員数、クラブの利用料金の推移は？

過去10年のクラブのサービス拡充点と指導員の雇用条件の向上点は？

A. 児童数は10年間でほぼ倍増。指導員数は、その年度の各クラブのクラス編成に伴う児童数と支援児加配の必要人数によって配置するため、全体の児童数の増加と比例するものとはなっていない。

	利用児童	クラス数	指導員
平成23年	2358人	51クラス	186人
平成28年	3512人	73クラス	234人
令和2年	4623人	82クラス	228人



利用料金は、平成21年度に、月額5000円から現行額の6000円に改定。

サービスの拡充は、平成18年度から**医療的ケアの必要な児童**、平成19年度から**特別支援学校に通う児童の受け入れを開始**。その後、平成23年9月からは**開設時間を19時までに延長**、平成25年度には**受け入れを4年生までに拡大**、翌26年度には**私立・国立等の小学校に通う児童の受け入れ**を開始。平成28年度からは**土曜日開設を実施すると共に、学校休業日の開始時刻を午前8時からに前倒し**。

指導員については、平成5年度に民間ボランティアから市が嘱託職員として雇用を開始し、その後、平成19年度から任期付短時間勤務職員に、平成2年度からは任期付短時間勤務職員以外の指導員が会計年度任用職員となっている。また、任期付短時間勤務職員の**月額給与を平均すると、平成21年度には約14万9千円、令和元年度は約16万9千円**となっている。

Q. 現在の応益負担の考えに基づく一律の料金設定のもとでは、利用者の所得がバラバラで、値上げを含む料金改定が困難と考える。クラブの利用料を、保育園と同様の応能負担に基づく(利用者の所得に応じた)料金設定には出来ないか？

A. 会費の算定は、総事業費から国・府の補助金を差し引いた額を市と保護者が1/2ずつ負担している。今後も、保護者負担を可能な限り低減しつつ、より充実した事業を実施できるよう研究、検討を重ね、会費の見直しの際には、他の自治体の状況等も勘案しながら適正な料金設定となるよう図っていく。

★意見★

サービスの拡充や改善の多くは、現場で働く指導員の方々の努力や協力、熱意ややる気によって実現出来たと考える。にも拘らず、指導員の方々の給与等にはそれほど反映されていない。他自治体の状況ではなく、市として、**サービスの拡充や改善にあわせて、指導員の方々の処遇改善も行うべき!!**そのために**総事業費が上がるのであれば、その分、利用者にも負担を求めるべき!!**

④児童手当について

～保護者のためではなく、子どものための手当!!～

Q. 児童手当の目的、意義、役割や「特例給付」に対する市の見解は？

A. 児童手当は、児童を養育している方に手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するものと考えている。あらゆる児童の扶養を社会的に支援するという意味で**高所得者層への特例給付も含め、その役割は大きいと認識している。**

Q. 特例給付が廃止されるのであれば、市独自で特例給付を継続することは考えられないか？

A. 市独自の特例給付の継続については、現在国会で法案の審議中であるため、その動向を注視するとともに、他市状況の収集に努めていく。

★意見・要望★

豊中市が、全ての子どもたちの健やかな成長を願っているというメッセージを市内外に発信するためにも、**再来年度からの一部の世帯に対する特例給付の廃止が正式に決定した場合、市独自に特例給付を継続することを検討して欲しい。**

⑤35人学級について

～効果的・効率的な学級運営の追求を!!～

Q. 市独自で35人学級を進める上で必要となる教職員を常勤職員で採用する場合と任期付常勤講師で採用する場合のそれぞれのメリット、デメリット、想定できる効果と課題は？

A. 市費任期付常勤講師の待遇・勤務条件は、府費常勤講師と比較して、同程度であると認識している。国の施策として35人学級への関係法令の改正が行われる見通しから、市独自の35人学級事業は、国の動きを見通し柔軟な雇用が出来る任期付が適正と考える。35人学級が国の施策として実現した場合には、市費任期付常勤講師の方々は、学校教育充実支援事業の市費任期付常勤講師や府費常勤講師への任用が可能。

Q. 現在、35人を超える人数で構成されているクラスの割合は？また、30人以下で構成されているクラス、35人以下で構成されているクラス、35人を超える人数で構成されているクラスにおいて、児童、教員にとって、具体的にどのような違いが生じているのか？

A. 35人超学級は、4年生23%、5年生17.9%、6年生21.4%。**少人数学級の優位性を証明する科学的な根拠は、豊中市教育委員会としては持っていない。**

Q. 一クラスの児童数の上限を設定し、一律に教員を割り振るよりも、各学校、各学年、各クラスの実情に応じて、柔軟に教員の配置を考えられるようにした方が、より効果的な学級運営が可能になるのでは？

A. 教育委員会としても学校への人的措置は喫緊の課題であると認識している。市費常勤講師等を学校の申請に基づき配置することのできる学校教育充実支援事業や学校の課題に応じた市費非常勤講師の配置等の継続を図っていきたいと考えている。35人学級が国の施策として実現した場合、市費任期付常勤講師の方々は、学校教育充実支援事業の市費任期付常勤講師として任用更新を検討する。今後とも加配教職員の充実を図っていきたいと考えている。

★意見・要望★

少人数学級に固執するのではなく、習熟度別授業やチームティーチングなど様々な手法と比較や検証したり、各学校、各学年、各学級の実情に応じて、各学校で教職員の配置が柔軟に出来る方策を講じることを積極的に検討して欲しい。国に先駆けて、35人学級の推進のために、市費負担教職員の雇用に要する予算を計上しているが、**国の施策が追いついてきた後も、学校の課題に対応するための予算として確保すべき!!**

⑥感染症対策の今後の見通しについて

～ワクチンと感染要望策は車の両輪!!～

Q. 市民の新型コロナワクチン接種率の見通しは？また、ワクチン接種率の上昇とともに、感染症対策のあり方や市民の生活スタイルに、変化が出てくると想定されているのか？

A. 接種率は徐々に上がっていき、高止まりに達するのは、今年の秋頃を想定している。**ワクチンを接種しても感染リスクは下がるものの、感染させるリスクが下がるものではなく、少なくとも今年中は、マスクの着用、手洗いなどの感染予防策を継続することが必要と考えている。**

★意見★

ワクチン接種が進んでも、**市民に継続的な感染予防策の徹底を指導、啓発すべき!!**

☆その他にも、このような質問をしました☆

- ・行政のデジタル化の方向性について
- ・職員採用について
- ・認知症対策について
- ・障がい者雇用について
- ・骨髄バンクのドナー助成制度について
- ・東西バス交通について
- ・コロナ禍における学校教育について
- ・千里・庄内少年文化館の廃止、移転について
- ・豊中駅周辺再整備構想について
- ・千里中央の再開発について